

2018年2月5日

インドの冷蔵庫工場が3月より生産開始 ～現地適格の商品をスピーディーに市場に投入～

パナソニック株式会社は、インド北部のハリヤナ州ジャジャールの当社製造拠点「パナソニック・テクノパーク」内で建設を進めていた冷蔵庫工場、インド市場向け冷蔵庫を3月より生産開始します。

人口13億人を抱えるインドは経済成長が著しく、特に家電市場は継続的な高い成長が見込まれます。また、インド政府が掲げる「Make in India」※1政策により、同国内への製造拠点の誘致が進められています。

当社は、インドを中国、東南アジアと並ぶ家電事業の重点地域と位置づけ、積極的なリソースの投入や体制強化を進めています。今回、調理小物やテレビ、2013年にテクノパークで生産を開始したエアコン・洗濯機に続き、冷蔵庫の現地生産を開始します。これにより、市場のニーズに合った商品をより早くお客様にお届けすることが可能となります。

新工場で生産する冷蔵庫は、インドで今後需要の増加が見込まれる300L～350Lの容量帯です。インバーター技術を採用した省エネ性に優れたモデルで、生活リズムに合わせて自動で効率よく制御を行い省エネを実現する当社独自技術の「エコナビ」や、庫内を清潔に保つ「Agグリーンフィルター」を搭載しています。

また、インドの食生活や現地の生活ニーズに合わせ、たくさんのスパイスを収納できる「ビッグドアポケット」たっぷりの野菜を鮮度を保って収納できる「フレッシュセーフ野菜ケース」を採用。世界有数の牛乳消費国であり、鍋で煮沸後に冷蔵庫で保存するインドの習慣を踏まえ、牛乳鍋がまるごと入るクールスペースも設けました。

さらに、光沢のある面材のフルフラットドアや「エコナビ」運転状況をお知らせする表示パネルを採用し、デザイン性も追求しています。

当社は、今後も急速に成長するインド市場で、現地の生活研究とR&D機能の活用により顧客ニーズを捉えた商品をスピーディーに投入し、家電事業の拡大を図っていきます。

※1 「Make in India」:インドのモディ首相が推進する、製造業を軸として経済成長を実現しようとする産業政策。

■ 冷蔵庫工場 概要

所在地	Technopark, Panasonic India Pvt. Ltd. Industrial Plot No.1 Village Bid Dadri, Jhajjar-124 103. Haryana, INDIA		
生産品目	冷凍冷蔵庫	生産能力	500,000台/年(予定)
販売開始	2018年4月	敷地面積	1万4,000平方メートル

以上

プレスリリースの内容は発表時のものです。

商品の販売終了や、組織の変更等により、最新の情報と異なる場合がありますのでご了承ください。